

「区立施設の再編整備」に関する 区民アンケート集計結果（概要版）

- 昨年 11 月に作成した素案について、幅広く区民の意見を聞き、計画策定の参考とするため、区民アンケートを実施（実施期間：11/14～30）。
- アンケートは無作為抽出した区民 1,000 名に郵送で依頼したほか、区ホームページ等で実施。
- 集計結果は、平均肯定率*が 64%となり、多くの区民から素案への賛同を得ることができた。

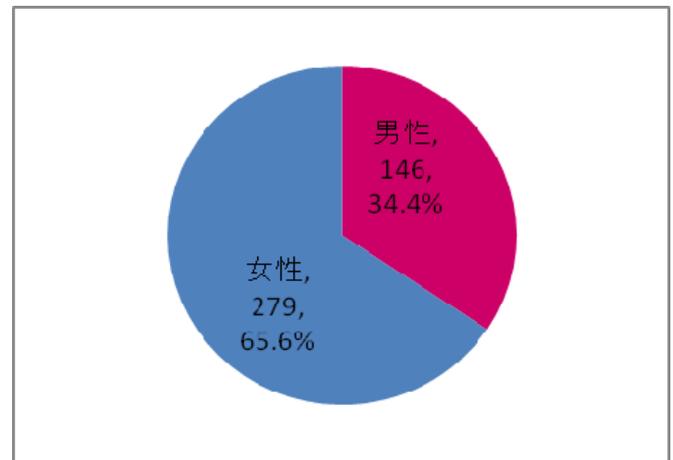
*肯定率：各設問における（素案に対する）肯定的な回答（1 又は 2 を選択）した区民の割合

1. 回答状況

○回答者数（単位：人）

男性	女性	合計
146	279	425

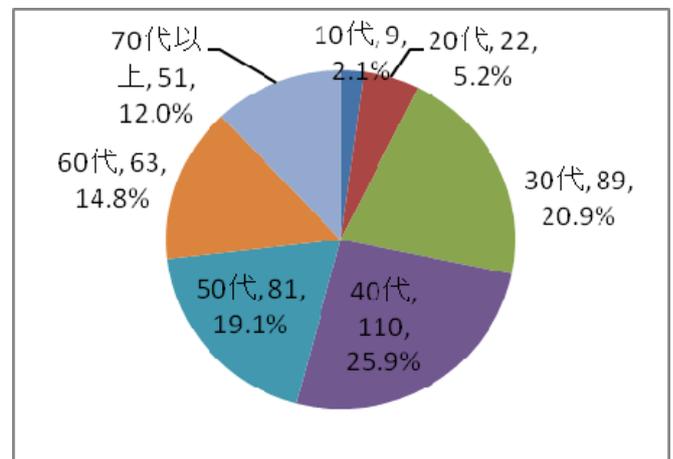
男女別で見ると、女性の回答が全体の約 3 分の 2 を占めている。



○回答者構成（単位：人）

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	合計
男性	4	8	19	34	28	26	27	146
女性	5	14	70	76	53	37	24	279
合計	9	22	89	110	81	63	51	425

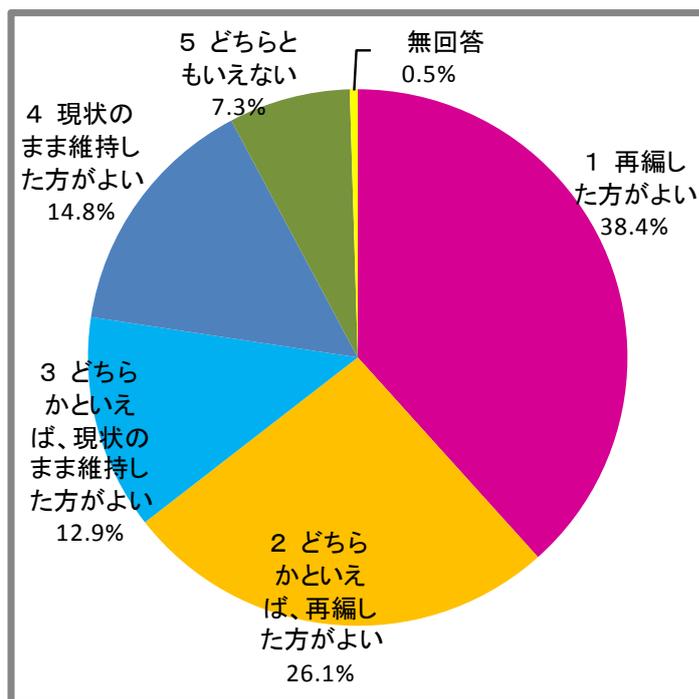
年代別の内訳を見ると、30代～50代の女性の回答が多く、全体の約 46.8%を占めている。



2. 主な設問内容と回答状況

Q. 「区立施設再編整備計画（概要版）」P.1 「第1章 区立施設を取り巻く状況～今なぜ再編整備が必要なのか？」について伺います。
ここでは区立施設の再編整備が必要な理由について区の考えを述べています。これについて、あなたの考えに近いものを一つお選びください。

	回答数	%
1 再編した方がよい	163	38.4%
2 どちらかといえば、再編した方がよい	111	26.1%
3 どちらかといえば、現状のまま維持した方がよい	55	12.9%
4 現状のまま維持した方がよい	63	14.8%
5 どちらともいえない	31	7.3%
無回答	2	0.5%

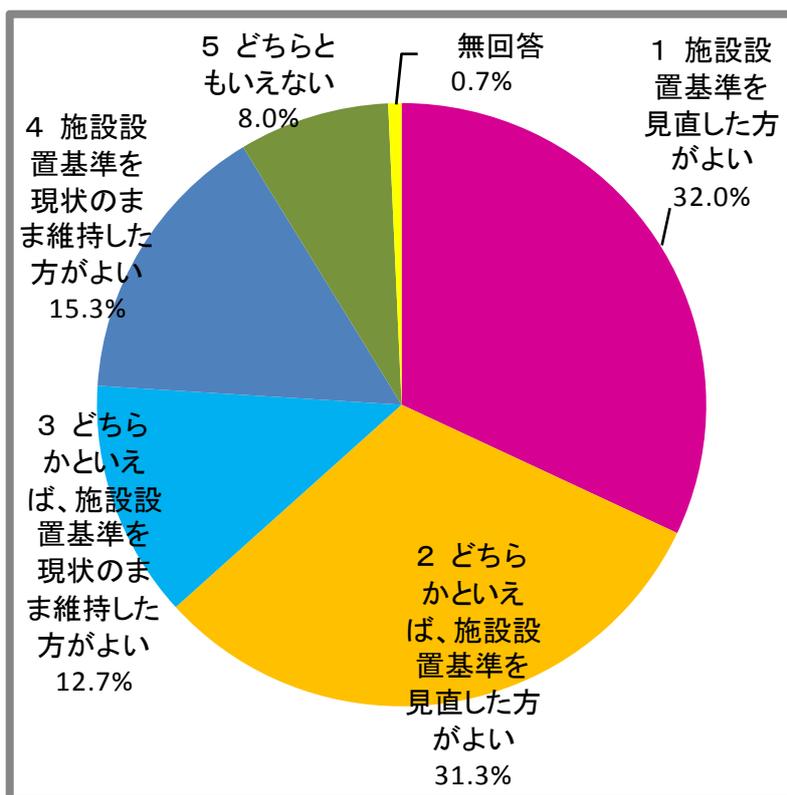


再編整備の必要性については、肯定率が64.5%を占め、今後、施設が次々に更新時期を迎える中、時代の変化に応じた区民ニーズへの対応を行うために、再編が必要であるという区の考えについて、肯定的な回答が多い結果となった。

Q. 「第 2 章 計画の基本的な考え方 2. 基本方針 (P. 2) 及び「第一次実施プラン (P. 3~6)」について伺います。

(1) 「①施設設置基準の見直し—7 地域の継承と 46 地区の基準の転換」について、あなたの考えに近いものを一つお選びください。

	回答数	%
1 施設設置基準を見直した方がよい	136	32.0%
2 どちらかといえば、施設設置基準を見直した方がよい	133	31.3%
3 どちらかといえば、施設設置基準を現状のまま維持した方がよい	54	12.7%
4 施設設置基準を現状のまま維持した方がよい	65	15.3%
5 どちらともいえない	34	8.0%
無回答	3	0.7%

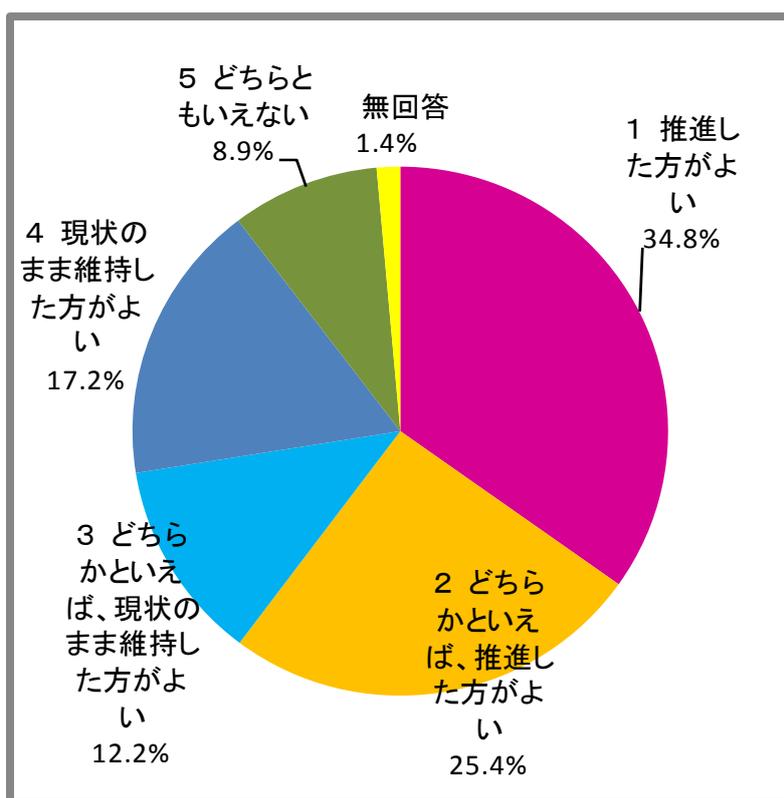


施設設置基準の見直しについては、肯定率が 63.3% となり、図が示した 7 地域の継承と 46 地区の基準の転換（「地区」の枠にとらわれず、必要なサービスを提供する考え方への転換）について、肯定的な回答が多い結果となった。

Q. 「第 2 章 計画の基本的な考え方 2. 基本方針 (P. 2) 及び「第一次実施プラン (P. 3~6)」について伺います。

(2) 「②複合化・多機能化等による効率化の推進」について、あなたの考えに近いものを一つお選びください。

	回答数	%
1 推進した方がよい	148	34.8%
2 どちらかといえば、推進した方がよい	108	25.4%
3 どちらかといえば、現状のまま維持した方がよい	52	12.2%
4 現状のまま維持した方がよい	73	17.2%
5 どちらともいえない	38	8.9%
無回答	6	1.4%

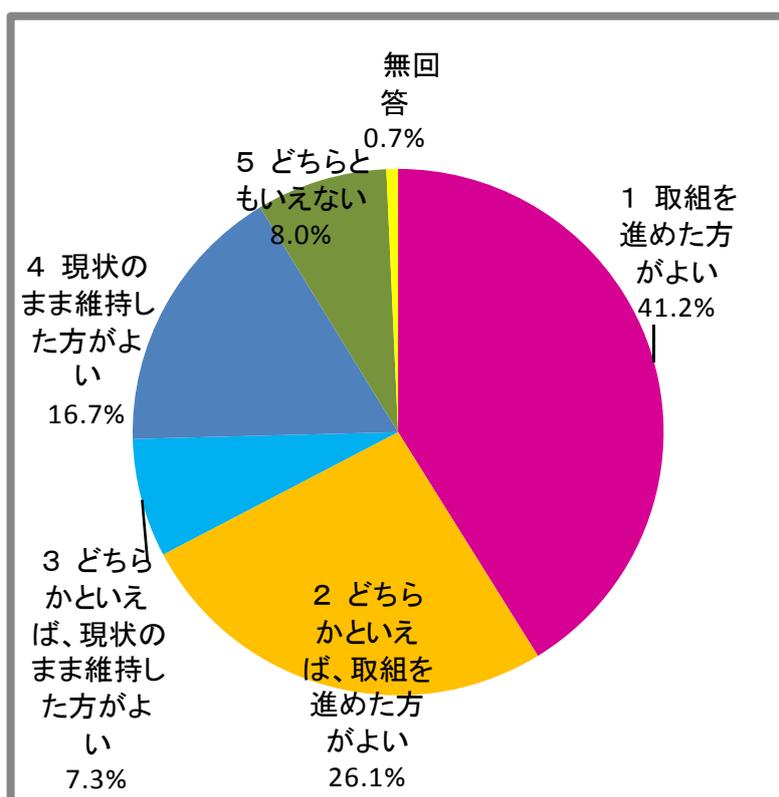


複合化・多機能化等による効率化の推進については、肯定率が60.2%となり、施設の複合化・多機能化等の取組により、施設運営の効率化を進め、持続可能な行財政運営を推進するという区の考えについて、肯定的な回答が多い結果となった。

Q. 「第 2 章 計画の基本的な考え方 2. 基本方針 (P. 2) 及び「第一次実施プラン (P. 3~6)」について伺います。

(3) 「③学校施設と学校跡地の有効活用」における区の方針及び「第一次実施プラン 3. 学校施設 (P. 4)」で掲げた再編整備の方向性と具体的な取組について、あなたの考えに近いものを一つお選びください。

	回答数	%
1 取組を進めた方がよい	175	41.2%
2 どちらかといえば、取組を進めた方がよい	111	26.1%
3 どちらかといえば、現状のまま維持した方がよい	31	7.3%
4 現状のまま維持した方がよい	71	16.7%
5 どちらともいえない	34	8.0%
無回答	3	0.7%

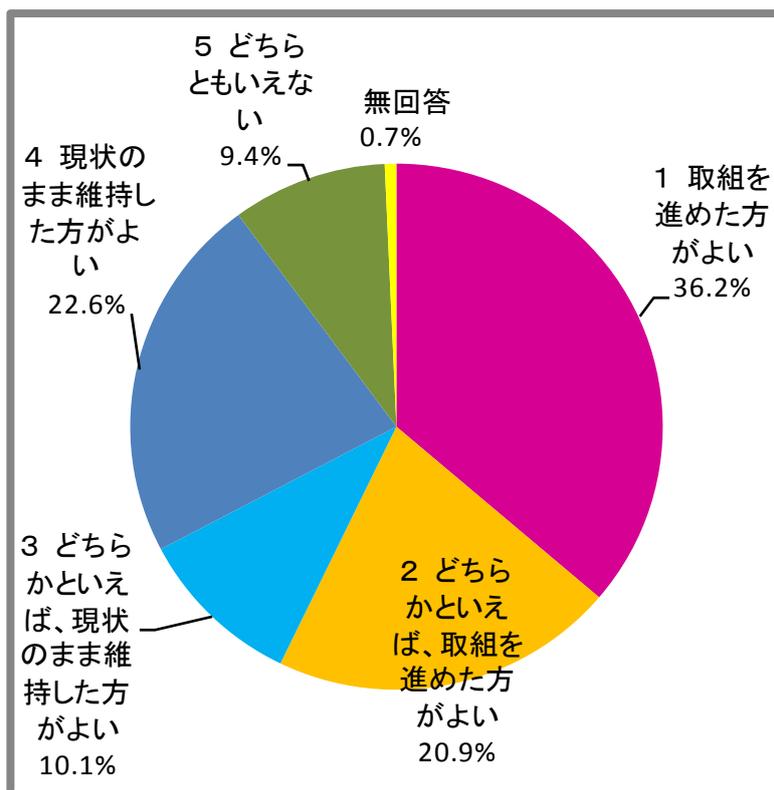


学校施設と学校跡地の有効活用については、肯定率が67.3%となり、学校施設や統合に伴う学校跡地について有効活用を図るという区の方針について、肯定的な回答が多い結果となった。

Q. 「第 2 章 計画の基本的な考え方 2. 基本方針 (P. 2) 及び「第一次実施プラン (P. 3~6)」について伺います。

(4) 「④児童館の再編と子育て支援事業の新たな展開」における区の方針及び「第一次実施プラン 4. 児童館・学童クラブ (P. 5)」で掲げた再編整備の方向性と具体的な取組について、あなたの考えに近いものを一つお選びください。

	回答数	%
1 取組を進めた方がよい	154	36.2%
2 どちらかといえば、取組を進めた方がよい	89	20.9%
3 どちらかといえば、現状のまま維持した方がよい	43	10.1%
4 現状のまま維持した方がよい	96	22.6%
5 どちらともいえない	40	9.4%
無回答	3	0.7%



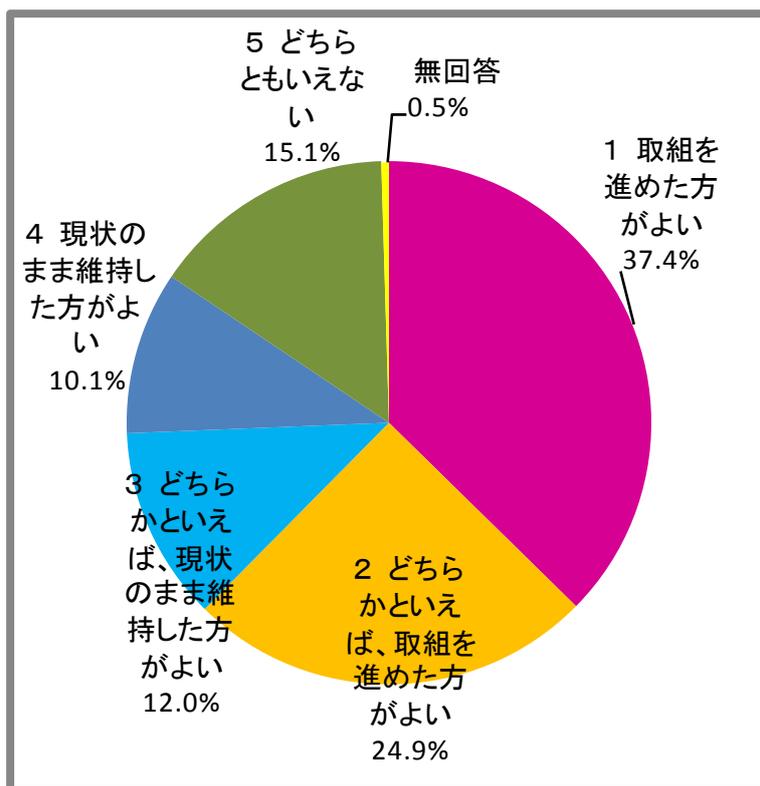
児童館の再編については、肯定率が57.1%となり、過半数の区民から取組を進めた方がよいとの回答を得た。一方、否定率*は設問中最も高い32.7%となり、現状維持を望む声も多く見受けられた。

*否定率：各設問における（素案に対する）否定的な回答（3又は4を選択）した区民の割合

Q. 「第2章 計画の基本的な考え方 2. 基本方針 (P. 2) 及び「第一次実施プラン (P. 3~6)」について伺います。

(5) 「⑤ゆうゆう館の再編」における区の方針及び「第一次実施プラン 5. ゆうゆう館 (P. 5)」で掲げた再編整備の方向性と具体的な取組について、あなたの考えに近いものを一つお選びください。

	回答数	%
1 取組を進めた方がよい	159	37.4%
2 どちらかといえば、取組を進めた方がよい	106	24.9%
3 どちらかといえば、現状のまま維持した方がよい	51	12.0%
4 現状のまま維持した方がよい	43	10.1%
5 どちらともいえない	64	15.1%
無回答	2	0.5%

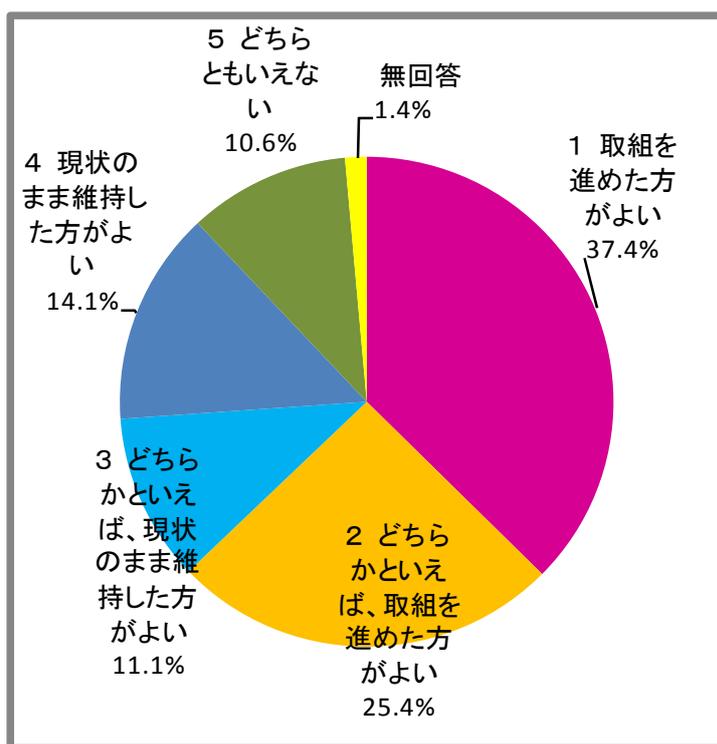


ゆうゆう館の再編については、肯定率が62.3%となり、これまでのゆうゆう館の機能や役割を継承しつつ、順次、多世代が利用できる施設へと転用・再編を進めていくという区の考えについて、肯定的な回答が多い結果となった。

Q. 「第 2 章 計画の基本的な考え方 2. 基本方針 (P. 2) 及び「第一次実施プラン (P. 3~6)」について伺います。

(6) 「⑥地域コミュニティ施設の再編」における区の方針及び「第一次実施プラン 6. 集会施設 (P. 5)」で掲げた再編整備の方向性と具体的な取組について、あなたの考えに近いものを一つお選びください。

	回答数	%
1 取組を進めた方がよい	159	37.4%
2 どちらかといえば、取組を進めた方がよい	108	25.4%
3 どちらかといえば、現状のまま維持した方がよい	47	11.1%
4 現状のまま維持した方がよい	60	14.1%
5 どちらともいえない	45	10.6%
無回答	6	1.4%

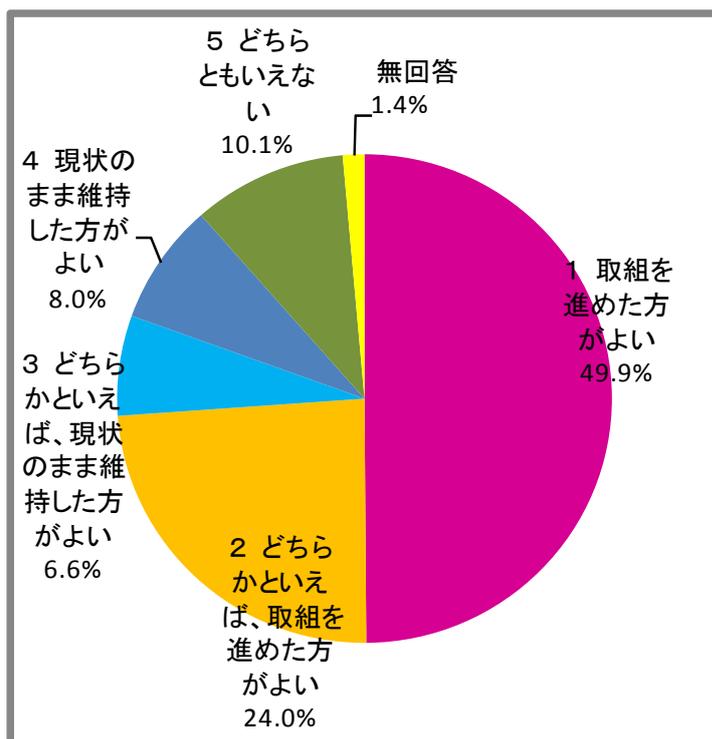


地域コミュニティ施設の再編については、肯定率が62.8%となり、区民集会所・区民会館・ゆうゆう館・一部の児童館を対象に、施設の有効活用や地域コミュニティの活性化の観点から、多世代が利用できる施設へと段階的に再編するという区の方針について、肯定的な回答が多い結果となった。

Q. 「第2章 計画の基本的な考え方 2. 基本方針 (P. 2) 及び「第一次実施プラン (P. 3~6)」について伺います。

(7) 「⑦緊急性の高い施設の優先整備」における区の方針及び「第一次実施プラン 1. 保育園・子供園、2. 特別養護老人ホーム等 (P. 4)」で掲げた再編整備の方向性と具体的な取組について、あなたの考えに近いものを一つお選びください。

	回答数	%
1 取組を進めた方がよい	212	49.9%
2 どちらかといえば、取組を進めた方がよい	102	24.0%
3 どちらかといえば、現状のまま維持した方がよい	28	6.6%
4 現状のまま維持した方がよい	34	8.0%
5 どちらともいえない	43	10.1%
無回答	6	1.4%

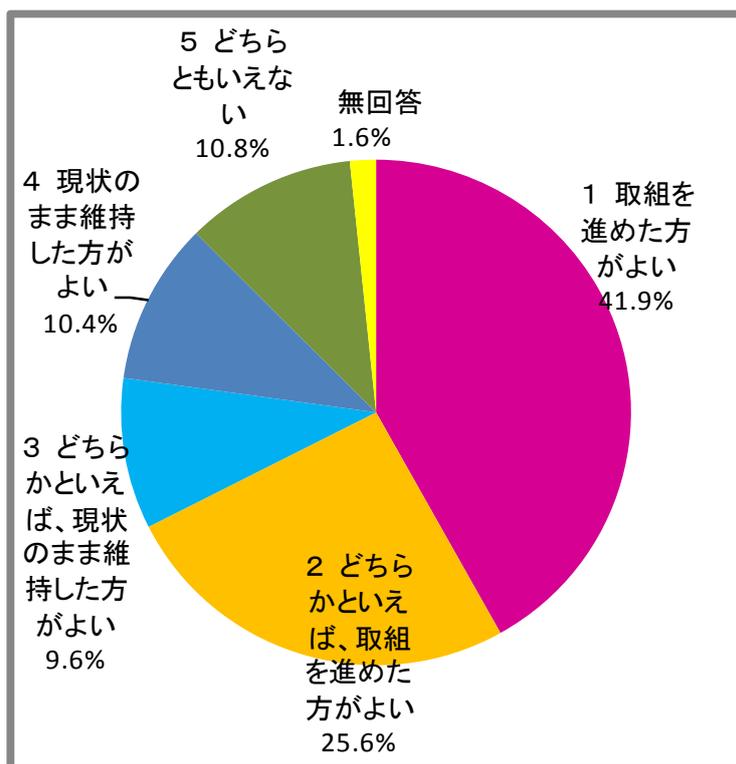


緊急性の高い施設の優先整備については、肯定率が73.9%となり、老朽化や耐震性等により更新の緊急性の高い施設や、当分の間、需要が増加することが予測される保育施設、今後確実に需要が増加する特別養護老人ホーム等について優先的に整備を行うという区の方針について、多くの区民が支持する結果となった。

Q. 「第2章 計画の基本的な考え方 2. 基本方針 (P. 2) 及び「第一次実施プラン (P. 3~6)」について伺います。

(8) 「⑧国や東京都、他自治体等との連携」における区の方針及び「第一次実施プラン 1. 保育園・子供園、2. 特別養護老人ホーム等 (P. 4)」で掲げた再編整備の方向性と具体的な取組について、あなたの考えに近いものを一つお選びください。

	回答数	%
1 取組を進めた方がよい	178	41.9%
2 どちらかといえば、取組を進めた方がよい	109	25.6%
3 どちらかといえば、現状のまま維持した方がよい	41	9.6%
4 現状のまま維持した方がよい	44	10.4%
5 どちらともいえない	46	10.8%
無回答	7	1.6%

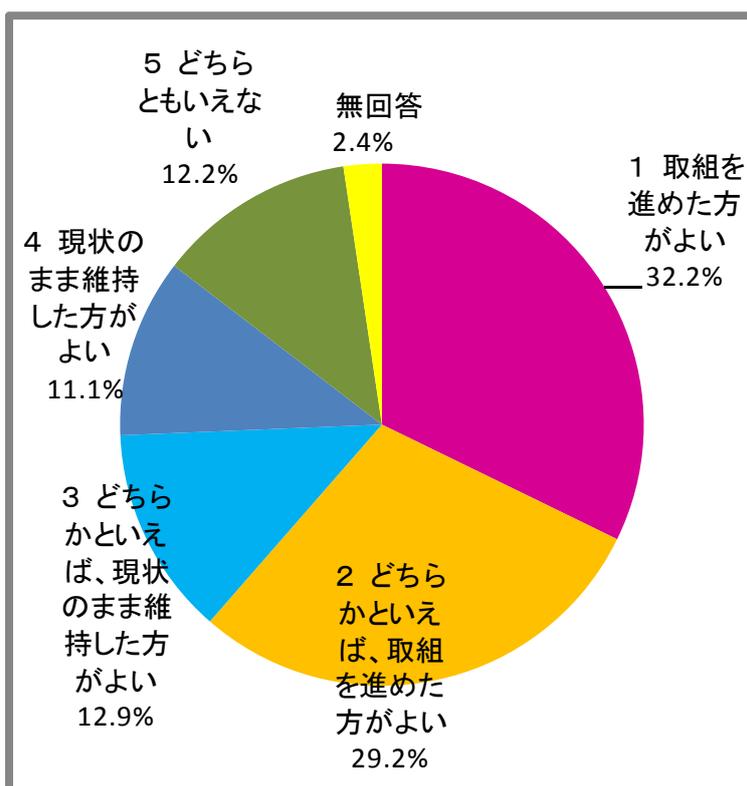


国や東京都、他自治体等との連携については、肯定率が67.5%となり、新たな施設の設置及び既存施設の更新に際して、国・東京都との連携による国公有地の活用を検討するという区の方針について、肯定的な回答が多い結果となった。

Q. 「第 2 章 計画の基本的な考え方 2. 基本方針 (P. 2) 及び「第一次実施プラン (P. 3~6)」について伺います。

(9) 上記 (3) ~ (8) (設問 32~37) 以外の施設の再編整備の方向性と具体的な取組について、あなたの考えに近いものを一つお選びください。

	回答数	%
1 取組を進めた方がよい	137	32.2%
2 どちらかといえば、取組を進めた方がよい	124	29.2%
3 どちらかといえば、現状のまま維持した方がよい	55	12.9%
4 現状のまま維持した方がよい	47	11.1%
5 どちらともいえない	52	12.2%
無回答	10	2.4%



設問 32~37 で取り上げた施設以外の施設の再編整備については、肯定率が 61.4% となり、そのほかの施設の再編整備の方向性と具体的な取組について、肯定的な回答が多い結果となった。

3. 自由意見欄

○計画全体・基本的な考え方について

- ・子育てをしやすい環境や住みやすい環境であれば生産年齢人口の転入にも繋がり年少人口の増加の可能性もある。次の世代のためにも再編整備計画を進めていくことに賛成する。
- ・現在の状況は無駄な部分が多いと思う。使用が一部の人に限られている施設は廃止・縮小も仕方がないと思う。今後は老人が増え、若い人が減っていくという現況に合わせた施設運営が必要だと思う。一つの建物にいろいろな機能を持たせ、コンパクトな運営が必要だと思う。
- ・施設が沢山ある中で、十分に活用されていない施設をよく調査し、それを他に利用するなどして、それほど費用がかさまないように整備を進めていくことが大事だと思う。緊急性の高い施設は、特に早く着手していただきたい。
- ・3・11以降、公共施設の重要性は増していると思う。ひとつの目的のみに使うのではなく、多目的、または転換を常に考えるべきだと思う。
- ・複合化・多機能化は良いが、建物だけ新しくしても管理運営が伴わなければ無駄なものになってしまう。
- ・財政や効率だけではなく、区民に夢を持たせる柔軟な考え方も取り入れて計画を進めていただきたい。

計画の策定プロセスについて

- ・基本的な考え方には賛成。5年後 10年後 15年後 20年後と、先をにらみながら施設の再編整備には賛成。ただし、施設には必ず利用者や働く人がいるので、あまり早急に行うことは考え直してほしいと思う。
- ・もっと時間をかけて地域の利用者や希望者含めて地域住民と率直な話し合いを進めるべき。
- ・現場の声を聞き、もう少し時間をかけて検討してみてもよいのではないか。
- ・地域差による区民のニーズを把握し、その地域にあった再編計画があるとよりわかりやすい素案になるのでは？それには各地域区民を計画作成に参加する必要があると思われる。

保育園・子供園

- ・現在杉並区は子育て世代には大変厳しい状況にあると思われます。これからの若い世代の人たちが、将来不安なく子育てできるように保育園等を増して安心して定住できれば税収増になると思う。
- ・子どもが気持ちよく遊べ、親が安心して預けられる保育園や学童クラブを主とした増設の施設再編整備を要望。
- ・杉並区の保育園は企業に働きかけ、もっと増やすべきと思います。

特別養護老人ホーム等

- ・特養ホーム新設のための土地は、統合に伴う学校跡地の利用で対応すべきである。民間土地の取得でもよい。

児童館・学童クラブ

- ・学童クラブの受入拡大と小学校に隣接を強く希望する。秋冬などは暗く低学年の子どもは行き帰りがとても危険。
- ・学童クラブについて小学校内に移行するのは賛成だが、働く母親をもつ子どもだけでなく、事前申込で皆が参加できる居場所にしてもらいたい。
- ・学童クラブを小学校内に置くことについて、私立に通う児童や学校内でイジメを受けている児童の居場所があるのか心配。別の場所に学童があることも必要では。
- ・乳幼児の集いの場を小学校内に設置する場合には、低年齢（とくに0～1歳）はその他の年齢の子どもが遊ぶ場とは別スペースを設置してほしいです。
- ・児童館は午前中・午後・夜間の使用状況次第では、幼児とお年寄りが遊べる空間にはできないか。
- ・児童館の数が減るのは子育て世代にとって大打撃。児童館に行くことで孤立化を防いでもらったと痛感している。子育て支援事業はこのままにしてほしい。

ゆうゆう館

- ・ゆうゆう館と保育施設が同居する認可園に子どもを通わせているが、高齢者と園児の交流はとても素晴らしく意義がある。できるなら継続してほしい。
- ・ゆうゆう館の再編については、コミュニティバスの通る場所を優先して考えた方がよいと思う。

集会施設

- ・高齢者と子どもの施設などは分けずに、一緒のコンセプトのもとで考えてほしい。世代を超えたつながりがあるほうがよいと思う。また、障害を持つ方が働ける場所（カフェや食堂など）を提供し、一般の方が気軽に利用できる場所をもっとあればいい。
- ・施設の設置場所が偏らないようにしてほしい。
- ・高齢者が元気で活動できる場として、遠くない所に作ってほしい。
- ・地域区民センターは、地域のつながり、世代のつながりの場として地域の中心となるような活用をもっとしてほしいと思う。

その他の施設

- ・図書館の蔵書を減らしたり、科学館を廃止にしたりなど、教養に関わることは杉並区は力を入れていると思っていたので、今後もより強化してほしい。
- ・雇用に関する相談ができる施設がほしい。
- ・あんさんぶる荻窪には多くの組織体が入居しており、交通の便もよく、訪問者、利用者は多い。荻窪税務署等との用地交換はすべきでなく、あんさんぶる荻窪の移転はすべきでない。
- ・医療ケアの必要な障害児の通所施設が定員オーバーということで困っている。専門の施設の建設をぜひ進めていただきたい。

その他の意見

- ・高齢化が進む区内において負担軽減で気軽に利用できる施設が身近にあることが元気な老人促進につながると思う。幼児・児童関連も負担少なく利用できるよう、優先順位を検討して財源確保に頑張ってもらいたい。
- ・総論の話ばかりでアンケートの目的がよく分からない。税収減と財政負担を補うための具体的な金額を設定し、それに伴う具体的な統廃合策と売却を含めた整理案を示し、アンケートを取るべきだと思う。
- ・アンケートを取り、区民の声を大切にしていこうとする提案は素晴らしいと思った。